

松蔭会 同窓会だより



旧制 志布志中学校



志布志高等学校



志布志高等女学校

新たな伝統 「挨拶日本」 創立百十周年 魅力掘り起こし

令和元年五月二十五日、地元紙南日本新聞「ミライページ」に表題の活字が躍っていた。これは同社が企画する「学生による学生の新聞」として学校ごとに、学校ゆかりの人物や自慢の取り組みなどを紹介するもので、取材・執筆するのは各校の学生、生徒。未来を担う若い世代が各校の今を伝えるという。「私たちが取材しました」と六名の取材班が顔写真入りで一言ずつ、学校の魅力を紹介する。(以下は記事の要約)

表題の記事には母校の成り立ちが紹介され、歴史の重みを感じると共に誇りをもつて、新たな歴史を紡いでいこうとする思いが学内に満ちているとし、新たな取り組みの一つが二〇一七年に行った「挨拶日本」宣言。校内外で挨拶をする事で「挨拶の良さを再認識した」「自他共に気持ちよくなり挨拶を返してもらおうと嬉しくなる」と感想を述べる。この宣言は、生徒の自己肯定感や愛校心、志高生であることの意識づけにつながり、また積極的な挨拶活動が地域活性化の一端も担っている

考えると結ぶ。もう一つの学校活性化の取り組みは、春に開催する曾於高校とのスポーツ交歓会「志曾戦(しそせん)」陸上、サッカー、野球など競技の他今年から選手以外も楽しめるレクリエーション種目も行い、両校の友情と絆を深めた。

百十周年の歴史を持つ本校に更なる繁栄を願う声が聞かれる一方、少子化による中学生の受験倍率が低下している。しかしこうして取り組むを通し、未来まで続く魅力的な学校を目指し先生方、生徒全員で力を合わせて進んでいきたいと結んだ。



**愛される校歌
独特のリズム 深い歌詞**
志高生は校歌が大好き。入学式では有志が斉

唱し、文化祭、体育祭の最後には、学年の壁を越えて全校生徒が肩を組んで校歌を歌う。どのような校歌なのだろうか？

一九五五(昭和三十)年制定。八分の六拍子のゆつたりとしたリズムで、歌詞には学校名が入っておらず控えめなイメージの中に学校の情景や大隅のらかな風土を感じさせる内容。二つの特徴は県内でも他に類を見ない珍しいものと言われる。長い伝統と共に歌われてきた校歌は生徒にとつて偉大で、誇りでもある。多くの人々に愛される本校の校歌は、これからも歌い継がれることであろう。



松ぼっくり玉入れ
PTA名物種目

校内にある百本以上の松。志布志高校同窓会の名称「松蔭会」の由縁でもある。創立百十周年を見守ってきた松の松ぼっくりは手に収まりきれないほど巨大だ。九月の体育祭で、PTA種目として「玉入れ」ならぬ「松ぼっくり入れ」が、かつてTVの「珍百

景」にも取り上げられた程の志高名物となっている。松ぼっくり入れは準備が大変で、体育祭用具係のサッカー部員たちがトゲやさざくれを削って整え、参加者が怪我をしないようにしてくれている。隣接の香月小児童も工作用にと松ぼっくりを拾いに来る。それを使った工作が、多くの児童の思い出になってくれたらうれし。



最後に「推しメン！」のコーナーには努力の大切さを熱く説く、安永先生(社会科)を登場させた。これらの記事を通じて、現役生の本校の長い歴史に対する深い思いと誇り、更には新たな歴史を紡ごうとする熱い思いに触れ、錆びついた頭に爽やかな五月の風が吹き込んだ。

尚、学校の最新情報及び「ミライページ」原文は、志布志高校ホームページの「学校ブログ」をご覧ください。

母校の創立百十周年を お祝い申し上げます



松蔭会会長
一木 弘文

全国の松蔭会員の皆さま、如何お過ごしでしょうか。皆さまにはかねてから母校ならびに松蔭会に對しまして、ご支援、ご協力をいただき心から感謝申し上げます。お陰様で今年も「同窓会だより」を皆さまにお届けすることができました。どうか、母校ならびに各地の同窓会の様子をお楽しみいただき、お一人お一人の在りし日を懐かしんでいたければ幸いです。

母校の古き良き
いよいよ、今年百十周年の記念すべき年がめぐつてまいりました。昨年度から創立百十周年記念事業実行委員会を立ち上げ、協議を重ねて参りました。協議の中心は、先輩たちがこれまで積み上げて来られた古き良き歴史と伝統を伝えていくかということでした。

全国的な少子化の波は、母校にも例外なく押し寄せています。しかし、懸命に頑張ってくれています。去る五月二十五日の、地元紙南日本新聞の「ミライページ」(上記)に約一ページを使って、百十周年を迎える歴史の重みを感じる(南日本新聞の表現)志布志高校が紹介されました。後輩たちを応援することが、母校の活性化につながる。

この記念すべき百十周年を契機に、後輩たちの教育環境の整備に協力したい。今回の記念事業の趣旨はここにありま。記念事業には基金が必要で。まだ、募金をお願いしております。何卒、趣旨をご理解の上ご協力賜りますようお願いいたします。皆さまとご一緒に、百十周年をお祝いいたしましょう。最後に、全国の松蔭会員の皆さまのご多幸を祈念申し上げます。

祝志高百十周年



校長 二石 政彦

一九〇九年に開校した志布志高
校は明治・大正・昭和・平成の世を
経て平成三十一年四月に百十周年
目を迎えました。創立百十周年記
念式典を今年の十一月九日(土)に
挙行する予定です。県内外の松蔭
会会員の皆様、この機会に母校を
訪問なさって懐かしい友人たちと
旧交を温めませんか？

他にも創立百十周年記念文化
祭が六月十五日(土)に開催されま
した。また、九月七日(土)には創立
百十周年記念体育祭が開催され
ます。同窓会の催しも用意してあ
ります。挙って御来校ください。
豊かな歴史と伝統を有し、高名
な卒業生を数多く輩出している志
布志高校の生徒たちは、「叡・志・
剛」の校訓の下、「文武両道」と「挨拶・掃除日本一」を目指して日々、
学業・部活動・学校行事・ポランテ
ィア活動等に、明るく前向きに一所

懸命に取り組んでいます。昨年
度の卒業生は、国公立大学に十九
名、私立大学に九十九名、短期大
学に二十四名、専修学校に二十三
名、公務員に二名合格しました。

部活動に関しては、昨年度は、和
田廉央君が水泳の自由形でインタ
ーハイに出場。また英語スピーチで
野元蓮君が九州大会に出場しまし
た。今年度は、山之内さん、毛野さ
ん、富高さん、水元さんが水泳女子
の自由形で九州大会に出場し、平
野伶温君が陸上の四〇〇mで南九
州大会に出場しました(六月時点)。

五月二十六日(日)に松蔭会本部
の竹永慎二副会長、宮ノ下事務長
と関西松蔭会総会に出席させてい
ただきました。会長の佐藤憲治氏
と副会長兼事務局長の岩崎睦生
氏を中心に多くの方々が協力して
企画・運営をしてください。和氣
藹々とした雰囲気の中で、親交を
深めることができました。関西松
蔭会の皆様、誠にありがとうございました。

今年度は創立百十周年事業を学
校全体で盛り上げて生徒減に歯止
めをかけて活気溢れる学校にして
いきます。エアコンの整備、部活動
の活性化など、生徒たちの教育環
境もハード・ソフト両面で改善を
図っていきます。

かごしま松蔭会の近況

事務局 妙 圓 園 毅

高三十二回(昭和五十五年)卒

平成三十年度の鹿児島松蔭会
総会は、六月三十日(土)ホテルパレ
スイン鹿児島で三十五名の参加の

もと開催されました。
当日は、永田憲太郎会長のあい
さつのもと、本部からお越しいただ

いた一本会長のあいさつ、また、母
校の進路状況や部活動などについ
ての近況報告は、校長先生の代理
で来られた宮ノ下幸博事務長から
いただきました。

懇親会では、例年通りに学年順
の自己紹介やお楽しみ抽選会など
が行われましたし、さらに、今年度
平成十八年卒業で志布志市の出
身、鹿児島や東京で歌手活動する
シンガーソングライターの「Yok
o(ヨーコ)」さんが、抜群の歌唱力
でミニライブを催してください。盛
会のうちにお開きとなりました。

ところで、この人口減少の時代
の中、少子化は学校の学生不足に
つながり、同窓会運営に当たっても
動員に苦慮していると聞きます。
鹿児島松蔭会も同じ課題に悩
んでいます。この課題解決のため、
総会開催日を六月第四土曜日(去
年は第五)に固定し、お楽しみ抽選
会など工夫してきました。また、参

加費は、僅かですが男女の差を設
けましたし、学生は無料です(昨年
は学生三名が参加)。
「学年サポーター」と称する会員
を選定し、同期生等に声を掛けて
いただくシステムも取り入れまし
た。それでも、なかなか会員は増え
る状況ではありません。

今年の鹿児島松蔭会総会は、六
月二十二日(土)ホテルパレスイン鹿
児島で開催します。多くの会員の
皆様のご参加と、今後の鹿児島松
蔭会の活動に対するご支援とご協
力をお願い申
し上げます。

最後に、母校
のますますの
ご発展と、本部
はじめ各支部
の会員の皆様
のご健勝とご多
幸をお祈り申
し上げます。



第十一回関西松蔭会開催を願ひて

関西松蔭会 会長 佐藤 憲治
高十七回(昭和四十年)卒

令和元年五月二十六日(日)天
候にも恵まれ爽やかな日中に「第
十二回関西松蔭会」を開催できま
した。こと誠にありがとうございました。

今回参加頂きました松蔭会本
部副会長竹永慎二氏・志布志高等
学校校長二石政彦先生、事務長宮
ノ下幸博氏、鹿児島県高校同窓会
関西連合会会長堀之内清隆氏、ギ
ャラリーえびはら主宰海老原あか
ね様、関西志布志会会長南曲久永

氏他役員そして会員の皆様の多数
のご出席を賜りました。関西松蔭
会事務局岩崎睦生氏の司会進行
により恒例の会長挨拶、来賓の方
ご挨拶を賜りこの場を盛り上げて
いただきました。松蔭会 本会長の
ご都合が悪く竹永副会長により
「本会長のメッセージ」を代読し
ていただきました。令和元年十一月
には、わが母校が創立百十周年を
迎えることへの熱き想いが述べら
れており、私たちOBも一考させら

究極の日常酒

本格焼酎

さつま若潮

若潮酒造株式会社

〒899-7104 鹿児島県志布志市志布志町安楽215番地
TEL 099-472-1185 / FAX 099-472-3800

やっぱり『写真』は宝物

志布志高校前
鹿児島県写真館協会会員

くらへい写真館

TEL (099) 472-5588(代)

〒899-7104 代表取締役 宮ヶ原 耕 喜
鹿児島県志布志市志布志町安楽56 FAX (099) 472-4388
S37年卒 宮ヶ原(旧姓岡田)マチ子

建設のトータルアドバイザー

久徳建設株式会社

Kyutoku

代表取締役 久徳 博文
一級建築士

本社 〒899-7302
鹿児島県曾根郡大崎町神領2156-1
TEL: 099-476-1131
FAX: 099-476-3244
E-mail: info@kyutoku.co.jp

れました。母校の創立記念が成功裡に終えられますようにご祈念申し上げる次第です。

現在の志布志高等学校校長二石先生の講話の中で、特に印象深く脳裏に深く焼き付いたお話の中に、「少子化の中で、私学優位な環境になっているが、必ず三年後には歴史ある志布志高等学校に復活致します」と力説されました。とても喜ばしく光栄に思えてなりませんでした。「挨拶日本」を目指すと云うスローガンの下、在校生の前向きな努力が実を結んでいるのではないのでしょうか。大いに期待したいと思います。

さて、二〇一九年五月二日より平成から令和へと元号も変わり慌ただしく一か月が経過いたしました。この間、令和天皇・皇后陛下が即位され新たな日本の夜明けが、日本及び世界中に発信されました。私たちが世界中で、昭和・平成・令和の三元号に亘り、時世を乗り越え今日に至っております。二度目の開催となる世紀の祭典「東京オリピック・大阪万国博覧会」、また、地震や津波・風水害等の天変地異・人的災害等々、喜びも悲しみも体験してきました。何事にも冷静さを失うことなく努力する姿勢こそが、これからの社会に大いに貢献できるものと信じてやみません。

次世代を担う若い世代の息子や孫に期待を託し見守って行きたいと思うこの頃です。

今回の関西松蔭会も田舎のさつま揚げ・ちりめんを食しながら、カラオケ、「焼酎音頭」の曲による踊りもあり、三時間ほどの時間が本当に短く感じられました。二次会では、カラオケを中心に同会場の

別室にて自身の持ち歌を披露され皆さん満足げな様子でした。私自身も一九七〇年の大阪万博の年に来阪し、すでに在阪四十九年を迎えましたが、故郷がますます遠くなりつつあります。関西の地にて開催できますことをこの上なく幸せなことと思います。また、何処の会でも常に話題に上がります「若い世代の参加」が今後の会の運営に多大な影響を与えそうです。私たちが役員一同が、若い世代にも共感できる同窓会の在り方を模索し、その解決の糸口を発掘することこそが唯一の指針とも言えるのではないのでしょうか。これまで先代から脈々と築き上げられた関西松蔭会自体が消滅することの無いよう、皆様方の益々のご協力ご支援を賜りますようお願いいたします。そしてこの関西松蔭会を名実ともに維持発展させていくためには、ひとえに会員の皆様のお力添えなしには成り立ちませんので、くれぐれも会の運営等に関しまして建設的なご意見等賜りますようお願い申し上げます。役員一同心よりお待ち申し上げます。

最後のになりましたが、会員の皆様のご健康とご多幸を祈念し、また関西松蔭会が益々の隆盛を極め発展しますことを祈念し、お礼の言葉に代えさせていただきます。



東京松蔭会の近況

東京松蔭会 幹事長 又木清嗣
高四十回(昭和六十二年)卒

平成三十年度の東京松蔭会は、七月七日(土)七夕の日に「グランドアーク半蔵門」にて、約五十数名の参加の下、盛大に開催されました。今年も、年に一度の開催を楽しみにしていらつしやる先輩方の楽しそうなお顔をたくさん拝見する事が出来ました。

総会には、志布志から宮ヶ原副会長と川畑副会長と二石校長と宮ノ下事務局長がお越しになり、母校の現状や様々な取り組みなどをスピーチいただきました。そして今年も、「志布志踊り連」のみなさんに会場を盛り上げていただき、締めめの校歌大合唱まで賑やかな会になりました。総会から二次会、そして三次会まで、都内各地で志布志弁が飛び交う夜になったのは言うまでもありません。

の志布志高校OB OGのみなさんにご参加いただいたものです。是非、東京松蔭会参加の波を、志布志からも送っていただけると嬉しいです。

時は流れ、五月からは新年号「令和」に変わります。新年号第一回目の東京松蔭会は、七月六日(土)十二時より、例年同様、緑美しい皇居を一望する「グランドアーク半蔵門」にて開催いたします。



東京松蔭会の会員数は、例年の課題でもある純減傾向ではあるものの、若手や中堅の年代のメンバーも少しずつ増え始めている状況です。SNSも有効に使い、たくさん



良徳整骨院
整骨・鍼・灸

曾於郡大崎町永吉牧の内
TEL 099-476-5600

(昭和54年卒) 牧原 浩幸(良徳)

困った時には…

(有)三味堂商事

志布志 TEL 099-472-1466(代) FAX 099-473-1818
鹿屋 TEL 0994-44-3380 FAX 0994-44-7966

(有)アクスス三味堂

鹿屋 TEL 0994-44-3380 FAX 0994-44-7966
志布志 TEL 099-472-3993 FAX 099-473-1818

会員の皆様 帰郷の際の宿として
同窓会の会場としてご利用下さい!

S36年卒 島津英昭 H元年卒 島津陽亮

志布志駅近く、市街中心に位置し
ビジネス・飲食にもとてもべんりです!

ホテル ポラリス

〒899-7103 鹿児島県志布志市志布志町志布志3-2-11
TEL:099-471-1200 FAX:099-471-1201

福岡松蔭会の近況

福岡松蔭会 事務局長 **植木謙一郎**
高三十八回(昭和六十年卒)

平成三十年十月二十日に福岡松蔭会を開催致しました。

当日は、松蔭会本部 竹永副会長、二石校長先生、石山先生の参加をいただき、総員二十二名の参加となりました。

一次会を博多駅前の「ホテルクリオコート博多」で、二次会を昨年同様川井田君(六十二年卒業)が経営する、西中洲「Bar 是空」で開催し例年通り楽しい時間を過ごしました。

今年には新たに四名参加いただきました。みなさんの協力のおかげで会員が増えてきております。日程の都合で参加できない方もおり、案内のタイミング、実施日時など今後の課題になります。



多くの方が参加いただけるよう取り組んでいきます。

平成三十年度鹿屋松蔭会総会報告

鹿屋松蔭会 会長 **中尾高康**
高六回(昭和二十九年卒)

(1)平成二十九年度総会中止、そして再会へ

鹿屋松蔭会が再発足して六年の平成二十九年に事務局長柴立俊明鹿屋市議会議員が病気で逝去、前会長有水基雄が平成三十年に逝去、鹿屋市松蔭会の中心的存在だった二人の他界により二十九年度の総会が中止。再会を期して平

成三十年八月に役員会を開催し、十一月十七日に鹿屋市北田町千成本店で開催することができました。

(2)平成三十年度総会報告

当日は松蔭会本部から一木弘文会長、志布志高校二石政彦校長、石山弘二教諭の出席を招き、会員十九名の参加で開催できました。総会では、二十八年度中止にな

った経緯、役員会報告、前年度会計報告、役員改選、参加者近況報告、初参加者への芋焼酎「松蔭」のプレゼント、第二回優れ者全国歌唱王本戦出場記念オリジナル曲「ふたりの花道」を熱唱された児島光正さんが当日持参されたCDの売上金全額を松蔭会本部へ寄付されるなどおおいに盛り上がりました。

今回をもって副会長を退任された有島不二男さんの今後の鹿屋松蔭会への提言、全員による校歌の斉唱、最後に一木会長の万歳三唱で閉会となりました。

○鹿屋市松蔭会新役員紹介

副会長 平田 辰雄

(S三十七年卒)海上自衛隊OB 理事 児島 光正

(S四十二年卒)郵政省OB 事務局長 松夫 功一郎

(S六十二年卒)鹿屋市役所

が承認され残り六名は留任となりました。

○初参加会員紹介

有水 五郎

(S四十二年卒)県職OB

鳥越 美香

(H五年卒)小学校教諭

牧之瀬 陽一

(H二年卒)鹿屋市役所

尾崎 直人

(H六年卒)鹿屋市役所

徳園 正幸

(S五十八年卒)鹿屋市役所

上相 隆弘

(H二年卒)鹿屋市役所

六名の初参加でフレッシュな顔ぶれになり今後も引き続き参加をお願いします。

○残された課題

鹿屋松蔭会会員名簿の再点検

と総会案内ハガキの取り扱い、及び参加者拡大の対策等

(3)会員への感謝

①健康、家庭事情等、誰もが悩みのある中、役員を快く引き受けてくださる会員、積極的に参加して下さる会員、励ましのメッセージを送ってくださる会員、みなさんに感謝。

②鹿屋松蔭会総会の様子を毎回DVDに編集され参加者全員に無料で配布して下さる海老原正さんに感謝。

③心温まる寄付金、芋焼酎「松蔭」の提供、資料作成、会計担当、さまざまなボランティア協力会員の皆様に感謝。

最後に、個人情報提供に配慮する時代になりましたが、実名記入は全国の同期生への連帯の深まりになることを願って書きました。ご了解ください。



お釈迦祭り
志布志港町恋唄
唄 さつまびと

お釈迦様へのお願いは
小さな柄杓に甘茶を酌んで
自分の歳の数だけかける
みんなの願いが叶うといいね
祭りの晩はやさしくなれる
思い出・志布志・港町

作詞・曲 かわいだけんいち
(高)七回(昭和四〇年卒)

JP 日本郵便株式会社
鹿児島県東部地区郵便局長会理事
曾於南部会 部会長
内之倉郵便局 局長
志布志市ふるさと大使

田浦 天志 S62年卒
Takashi Taura

899-7211 鹿児島県志布志市志布町内之倉 1669-2
TEL:099-479-1211/099-479-1346
FAX: 099-479-2104
E-Mail: 3001kd78275001_ya@jp-post.jp

大黒リゾートホテル 海の駅

099-473-0001
info@daikoku-hotels.com 1987-27-3539

同窓会だよりの原稿を募集しております。
掲載依頼は事務局(099-472-0200)まで

編集雑記 今年も「だより」を発行出来たことに喜びを感じるとともに、これからも発行出来るかと問われると甚だ疑問である。寄付頼みの発行はすでに限界。年齢による紙媒体と電子媒体との棲み分けなど、真剣な議論が必要になるのでは？…

TOPICS 本校も6月から県が行う「ふるさと納税制度」の中の「ふるさと母校応援プロジェクトの対象校」として指定を受けました。詳細は別紙チラシまたは学校ホームページをご覧ください。つきましては趣旨にご賛同いただき、ご協力よろしく願います。



写真は、二〇一八年十二月一日宮崎県在住の昭和四十七年卒業生の同窓会を宮崎駅近くのお店で開催した時のものです。

宮崎松蔭会

ご寄付卒業年度別内訳

2019年6月現在

卒業年度	卒業回期	ご寄付合計金額
昭和6~24	中学校・女学校 高校第1回	¥36,000
昭和25	高校第2回	¥2,000
昭和26	高校第3回	¥8,000
昭和27	高校第4回	¥8,000
昭和28	高校第5回	¥12,000
昭和29	高校第6回	¥24,000
昭和30	高校第7回	¥28,000
昭和31	高校第8回	¥24,000
昭和32	高校第9回	¥16,000
昭和33	高校第10回	¥18,000
昭和34	高校第11回	¥22,000
昭和35	高校第12回	¥15,000
昭和36	高校第13回	¥60,000
昭和37	高校第14回	¥17,000
昭和38	高校第15回	¥22,000
昭和39	高校第16回	¥24,000
昭和40	高校第17回	¥53,500
昭和41	高校第18回	¥44,880
昭和42	高校第19回	¥78,000
昭和43	高校第20回	¥11,000

卒業年度	卒業回期	ご寄付合計金額
昭和44	高校第21回	¥14,000
昭和45	高校第22回	¥13,000
昭和46	高校第23回	¥4,000
昭和47	高校第24回	¥14,000
昭和48	高校第25回	¥8,000
昭和49	高校第26回	¥22,000
昭和50	高校第27回	¥5,000
昭和51	高校第28回	¥4,000
昭和52	高校第29回	¥10,000
昭和53	高校第30回	¥5,000
昭和54	高校第31回	¥28,000
昭和55	高校第32回	¥3,000
昭和56	高校第33回	¥5,000
昭和57	高校第34回	¥5,000
昭和58	高校第35回	¥6,000
昭和59	高校第36回	¥5,000
昭和60	高校第37回	¥3,000
昭和61	高校第38回	¥10,000
昭和62	高校第39回	¥2,000
昭和63	高校第40回	¥2,000
平成1~19	高校第41~59回	¥15,000

ご寄付計 ¥705,880

110周年記念事業 寄付状況(5月現在)

寄付項目	金額
110周年記念事業寄付	¥5,648,181
110周年記念協賛広告費	¥949,000

ご寄付計
¥6,597,181

今年度も左記のように、全国の卒業生の皆さまから心温まるご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。賜りましたお志は「同窓会だより」の発行に使わせていただきます。今後ともご協力のほど、よろしくお願います。誠にありがとうございました。

「同窓会だより」のご寄付お礼

昨年度の総会は昭和五十三年卒の方々に担当していただき、懇親会も大いに盛りあげられました。例年総会出席の呼びかけは順送り、卒業四十年目(還暦を前にした五十九才)の同期生が担当することになっていました。総会後は同期同窓会に続き、また総会に続いて同期同窓会に参加していただければ有難いと考えております。

担当年度表

2019年	……	昭和54年卒
2020年	……	昭和55年卒
2021年	……	昭和56年卒
2022年	……	昭和57年卒

今後の担当年度は上の通りです。
(卒業四十年目)

☆連絡先
志布志市志布志町安楽178番地
同窓会事務局宛
TEL(099)4721020番
FAX(099)47312913番

☆出席される方は電話、FAXもしくは
葉書でご連絡下さい。
(卒業年もお知らせ下さい。)

- ◎総会 午後三時~四時
- ◎会場 志布志大黒六月坂本店
電話 〇九九一四七二一〇七七
- ◎懇親会 午後四時~
- ◎懇親会費 四、〇〇〇円
(当日受付いただきます)

◎期日 **令和元年8月3日(土)**
(毎年八月の第一土曜日開催となっております)

令和元年度松蔭会総会

— 担当年度 五十四年卒 —



平成30年度 秋季大会成績

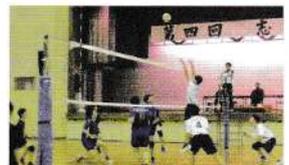
- ・第18回鹿児島県ビーチバレーボールジュニア選手権大会 優勝・二位
- ・第4回鹿児島県高等学校バスケットボール1年生大会 女子3位
- ・大隅地区高体連バドミントン秋季大会 男子団体3位 女子団体3位
- ・大隅地区高等学校弓道選手権大会 女子団体3位
- ・大隅地区高等学校冬季弓道大会 女子団体3位
- ・第63回鹿児島県吹奏楽コンクール 高等学校Aの部 銀賞
- ・第63回大隅地区高等学校校旗大会 創作部門 大賞 愛甲 宏宣 臨書部門 準大賞 河野 綾美
- ・第29回鹿児島県高等学校揮毫大会 臨書部門 田浦 瑠華 臨書部門 高文連賞 西山 頼良
- ・第49回鹿児島県高等学校書道展 高文連賞 田浦 瑠華
- ・第20回鹿児島県高等学校書道半紙展 優秀賞 河野 綾美 二川 七美 田浦 瑠華
- ・第69回鹿児島県高校美術展 (工芸部門)優秀賞 中村 果琳
- ・第13回大隅地区高等学校 ソロ・アンサンブルコンテスト アンサンブル部門 金賞・最優秀賞 佐々木 田原・出水・田浦
- ・金管4重奏 金賞 濱石・青山・川添・佐々木・松竹・脇田・有馬
- ・サクソス3重奏 金賞 川野・南堂・中山
- ・平成30年度鹿児島県高等学校英語弁論大会 2位 野元蓮 ※11月3日 九州大会(佐賀県)出場

令和元年度 春季大会成績

- ・鹿児島県高等学校春季水泳大会
 - 山之内 希望 女子400m自由形 1位 記録4分42秒86
 - 山之内 希望 女子200m自由形 3位 記録2分13秒78
- ・大隅地区高等学校陸上競技大会
 - 平野 怜温 男子1000m 1位 記録11秒25
 - 平野 怜温 男子400m 1位 記録49秒93
- ・大隅地区高体連バドミントン春季大会
 - 個人戦ダブルス 1・2年生の部
 - 2位 福山達也・脇真宗 3位 吉森和望・西江結星 3位 徳永彩菜・福留ゆきの
 - 男子団体 3位
- ・大隅地区高等学校春季バレーボール競技大会 女子団体 3位
- ・大隅地区高等学校春季弓道大会 優勝 女子団体 3位
- ・大隅地区高等学校春季水泳大会
 - 山之内 希望 女子400m自由形 1位 記録4分27秒50
 - 毛野 倅那 女子500m自由形 1位 記録29秒45
 - 高野 千尋 女子1000m背泳ぎ 1位 記録1分19秒57
 - 女子200m フリーリレー1位1分59秒54(大会新)(高野・水元・毛野・山之内)
- ・第71回鹿児島県高等学校水泳(競泳)競技大会
 - 山之内 希望 女子400m自由形 1位 記録4分42秒64
 - 山之内 希望 女子800m自由形 1位 記録9分38秒61
 - 毛野 倅那 女子500m自由形 6位 記録28秒94
 - 毛野 倅那 女子1000m自由形 6位 記録28秒94
 - 女子400mフリーリレー15位(高野・水元・毛野・山之内)
- ・以上、九州大会出場(7月13日(土)・15日(月)、鹿児島)
- ・第72回 鹿児島県高等学校陸上競技大会
 - 平野 怜温 男子400m 5位 記録49秒75
- ・※南九州大会出場(6月13日(木)・16日(日)、鹿児島)
- ・第66回NHK杯全国高校放送コンテスト鹿児島県予選大会 創作テレビドラマ部門 奨励賞

志高生 NOW

第4回 志曾戦開催



4月26日(金)に、串間市総合運動公園で曾於高校とのスポーツ交歓会を実施しました。両校生徒の交歓と、両校それぞれの生徒が愛校心を育むのが目的の行事で、今回で4回目になります。開会式直後行われた陸上競技部のリレーの全校応援の熱狂に始まり、男女計14種目が行われました。全種目を累計し、志布志高校9勝、曾於高校5勝で、4回目にして初めて志布志高校が勝ち越しました。今回は、部活動に所属していない生徒のために新種目「ネット・パス・ラリー」「ドッジボール」の2競技が新設されて、今までにない盛り上がりを見せました。閉会式後、志布志高校応援団長(野元蓮・志布志中)の発声により全校生徒で曾於高校側に向かって「両校で鹿児島を盛り上げよう!」というメッセージを贈りました。志曾戦は「第二の入学式」と感じられる行事に育ってきました。

JP 日本郵便株式会社
四浦簡易郵便局 局長

森田 祐子(旧姓 田浦)

もりた ゆうこ

S57年卒

〒899-7211
鹿児島県志布志市志布志町内之倉7163
Tel: 099-479-1601

JTB

感動のそばに、いつも。

安全・感動に残る旅行をプロデュースいたします。

修学旅行 学年旅行 研修旅行 受験旅行
遠足バス 家族旅行 海外留学 ハナムーン

株式会社 JTB 鹿児島支店

〒892-0847 鹿児島市西千石町11-25 フコク生命ビル5階
TEL: 099-226-1515
FAX: 099-239-6090

株吉原呉服店

TEL 099-472-0171

FAX 099-472-0174

※志布志高校制服指定店

卒業&進路決定おめでとぅ!!

最後まで粘り強くチャレンジを重ねた今春卒業生の健闘を讃えます。

(平成31年3月卒業生数 112名)

年度別大学合格者数

ア. 進学状況(合格者状況)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
国立大学	13(2)	17(3)	13
公立大学	6	10	6
国公立大学計	19(2)	27(3)	19
私立大学	105(2)	125(5)	99(1)
準大学	1(1)	3(1)	0
4年制大学計	125(5)	155(9)	118(11)
公立短大	8	9	9
私立短大	20	17(1)	14
準短大	3	1	1
短大計	31	26	24
専修学校	34	16	22
医療	9	18	11
その他			
計	199(5)	215(5)	175(11)

(国立大学)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
信州		1	
島根			1
九州	1	1(1)	
福岡		2(1)	
佐賀		2	
長崎		1	
熊本	4(1)	2	1
大宮		1	1
分岐	6		6
鹿児島	2(1)	5(1)	4
琉球		2	
計	13(2)	17(3)	13

(公立大学)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
横浜市立	1		
長岡造形			1
大尾道市立	2		
下関市立	1	1	
山口東			1
北九州	1	2	1
福岡		1	
長崎		1	
熊本		1	
宮崎		1	1
宮崎		1	3
名		1	
計	6	10	6

(公立短期大学)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
三重	1		
倉敷市立短期	1		
新見公立	1		
大分県立芸術文化	1	1	
鹿児島県立	4	8	9
計	8	9	9

(準大学)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
職業能力開発	1(1)	2	
防衛		1(1)	
計	1(1)	3(1)	0

(準短期大学)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
鹿児島県立農業	2		1
川内職業能力開発	1		
計	3	0	1

(私立大学)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
教林			1(1)
桜美院		1	
国学院	1		
国士	1		
駒沢	1		1(1)
専修	2		
帝京			2
大東			2
東京	1		
東京			1(1)
東京			1
東京			2
東			1
法政	2		2(2)
明治	1		3(3)
日武	1		2
武蔵			1(1)
拓殖	1		1
高千穂	1		
デジタル	1		
文京		1	
神奈川	1		
愛知			2
愛知			1
中京	2	1(1)	1
名	1		
藤田	1		
岐阜	2		
鈴鹿			1
大		1(1)	
大阪			1
大阪			1
京都	3	1	1
京			1
京都			2
京都	1		
立	2	3(2)	1(1)
近畿	1(1)	1	2(1)
花			1
関西			2
奈良	1		1
奈良			3

(私立大学)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
宝塚		1	
岡山	1	10	1
環太平洋		1	
宇部	1		
安田			1
四国		1	1
東			1
九州	1	1	
九州			2
九州	2	4	10
九州			1
九			1
久留米	3	10	4
久留米	4	4	4
国際	1	2	4
西南	3	3	1
西南			1
日本	3	1	
第一			1
筑紫			2
日本	2		
福岡	10	6	7
福岡	1	1	
福岡	1		
福岡			2
純真	1		3
西	2	1	
活水			
長崎			
長崎			
別府			1
立命館			1
崇	1	9	
九州	3	2	4
熊本	7	3	2
熊本	1	3	4
九州	1	9	2
平	3	2	1
宮崎			2
南	1		
鹿児島	17(1)	11(1)	8
志	2	8	3
鹿児島	1	1	1
第一	4	5	
計	105(2)	125(5)	99(11)

()欄は過年度卒業生再掲(内数)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
創価	2		
京都	1		2
大阪			1
大阪		1(1)	
精華	1		1
精			1
福岡			1
中村	2	1	2
福岡	1	1	
福岡	1		
山野			1
東	1		
長	2		
大分	1		
宮崎		2	
鹿児島	2	1	1
鹿児島	5	10	4
第一	1	1	
計	20	17(1)	14

(医療系専門学校)

大学名/卒業年	29年3月	30年3月	31年3月
鹿児島	3	1	3
鹿屋	5	3	3
履正社			1
横浜			1
静岡	1		
都城	2	2	4
伊勢			1
麻生			1
福岡			1
福岡			1
久留米			1
臨			1
上天			1
佐賀			1
日本			1
大分			1
藤元	2	2	1
フィ			1
仁	1		
日			1
鹿児島	12	1	
鹿児島	2		
鹿児島	2		
久木			1
神	1		1
加	1		
鹿児島	2		2
計	34	16	22

イ. 就職状況

○地区別就職者数

地区	男	女	計
鹿児島	1	1	
計	1	1	

○職業別就職者数

職種	男	女	計
事務	1	1	
計	1	1	

○産業別就職者数

職種	男	女	計
公務	1	1	
計	1	1	



◆松蔭会同窓会本部事務局

松蔭会会長 一木 弘文

〒八九九-〇四 鹿児島県志布志市志布志町安楽 七八

TEL 〇九九-四七二-〇一〇〇

◆東京松蔭会

会長 中塚 優

〒三三九-〇〇五 さつま市岩槻区宮町二丁二三四

TEL 〇四八-七五八-四五九九

◆関西松蔭会

会長 佐藤 憲治

〒五五-〇〇二 大阪市東区大宮二丁〇一三二

TEL 〇六-六九五-一三九九

◆福岡松蔭会

会長 堂園 勝郎

〒八九九-〇五五 福岡市西区上山門丁目四〇一五

TEL 〇九二-八一九-一六五五

◆宮崎松蔭会

会長 中村 健一郎

〒八九九-〇八七 宮崎市永楽町三七

TEL 〇九八-五一一-八七七

◆串間松蔭会

会長 井手 明人

〒八九八-〇〇二 串間市寺里一丁六一三

TEL 〇九八-七七二-三四五七

◆鹿児島松蔭会

会長 場集田 稔

〒八九九-〇七五 鹿児島市桜ヶ丘五丁目二九一二

TEL 〇九九-二六五-一三八七

◆鹿屋松蔭会

会長 中尾 高康

〒八九九-〇〇四 鹿屋市寿七一三一九

TEL 〇九九四-四三六-〇六